一 般 質 問 通 告 書

平成24　年11月12日　提　出

嵐山町議会議長	議席番号	氏　　名	受付番号
長島邦夫　様	13	渋谷登美子　　印	

下記のとおり質問したいので通告します。

№	質問事項	質　問　要　旨	答弁者
2	生命を大切にする教育の展開について (答弁書不要)	日本では自死は、死亡原因の5番目に挙がっており、先進諸国のなかでは非常に高い。 1998年犯罪被害による死者は806人、2011年409人、交通事故による死者は9211人、2011年4611人と半減している。しかし、自死の人数は1998年32888人、2011年30635人と3万人台を超えている。50代～60代の人の自死数が最も多い。 (1)15才から34才までの死亡原因のトップは自死である。若者の死亡原因のトップが自死であるのは日本だけである。2006年自殺対策基本法が制定され、自殺予防教育は次年度よりモデル的に行われる。学校における生命を大切にする教育、自殺予防教育の展開を聞く (2)生涯学習において、命を大切にする教育が必要であるが、考え方を聞く。支援を求めることが出来る社会的関係の構築について考えを聞く	教育長 町長
3	高齢化した社会的ひきこもりの方への対応 (答弁書不要)	ひきこもりの方の実態を把握するのは難しい。が、最近では40歳以上の年齢になるひきこもりの方も増えているという。親の高齢化による死亡などの不安がある。 社会との関係を絶っている人の把握と、高齢化した親が支援を求めることが出来る体制が必要であるが、対策を聞く	町長